

取扱説明書 Ver 2.00

TP-671R

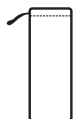
ランドロック



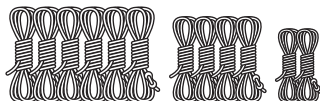
この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

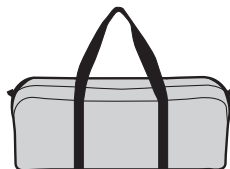
セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。また、ペグやロープ自在は消耗品です。常に予備を携行することをお勧めします。



ベグケース



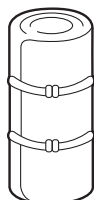
自在付ロープ
(3.5m×6、2.5m×4、1.5m×2)



キャリーバッグ



インナールーム



シェルター本体
コンプレッションベルト×2



フレームキャリーバッグ



Aフレーム×2
リッジポール×1
Cフレーム×2
センターフレーム×1



ジュラルミンペグ×27

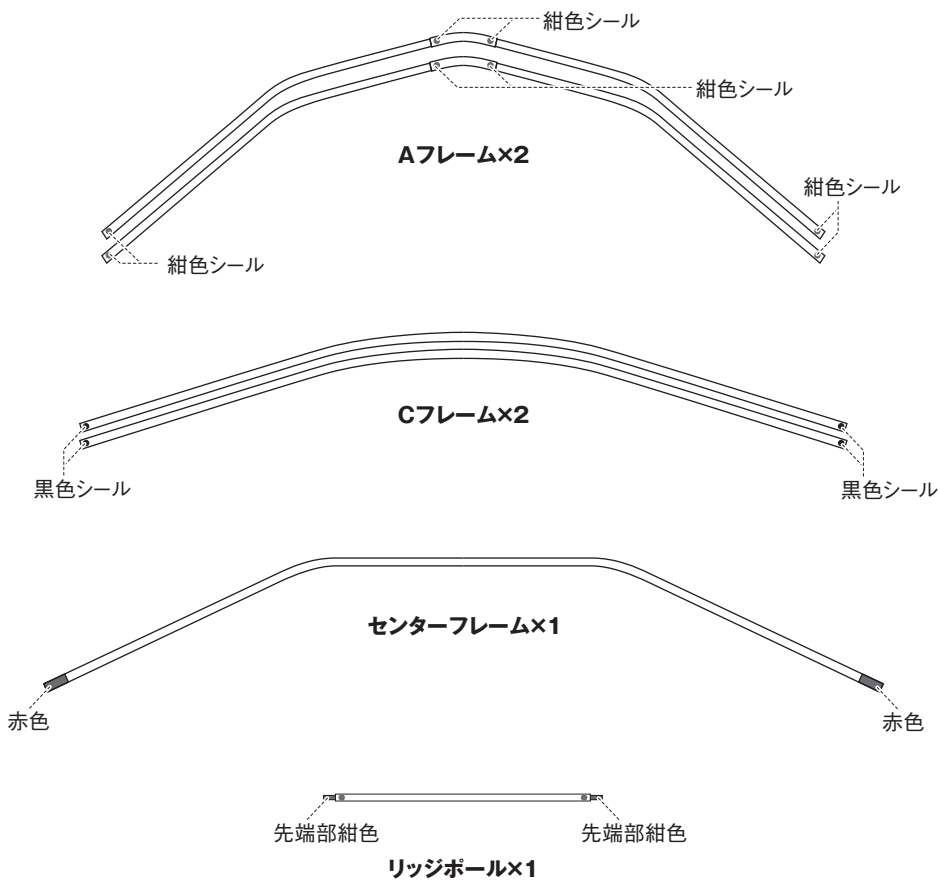


シームグリップ



取扱説明書
(本書)×1

フレーム構成



△ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

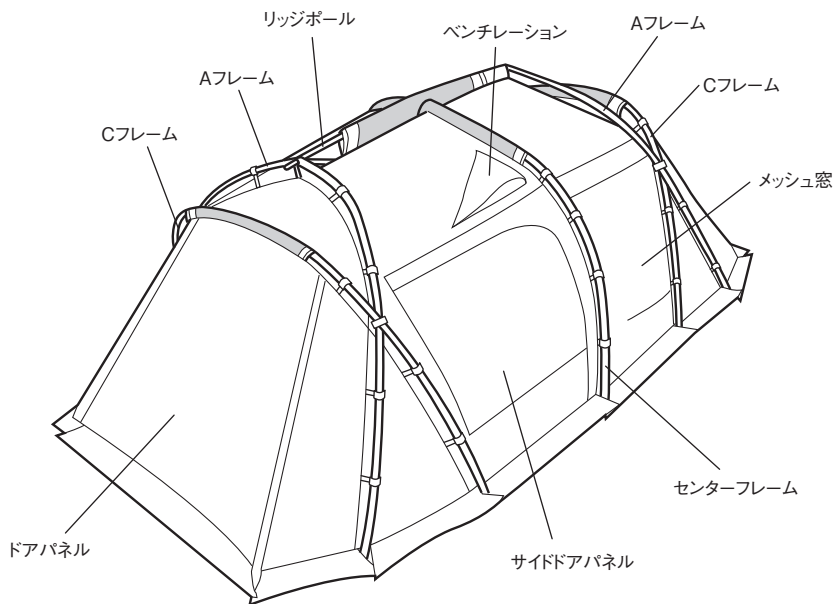
△ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- シェルターの中に高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候により、シェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- 急な積雪により、ドアパネルのマッドスカートが雪で覆われたり、天井部に高く積ったりすると危険です。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして換気にも注意をしてください。

△ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を振り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故に繋がるおそれがありますのでポールを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープでしっかりとテントを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- インナールーム内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなど熱源のそばで組み立てたり、使用しないでください。万一熱源が転倒したり落下しても延焼しない距離を保ってください。
- 本製品の設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。
- 縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープを縫いつけた部分等、製造の都合上或いは構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時などは、縫い目から雨水が侵入することがあります。ご購入時は、シーリング加工は行っておりませんので、付属のシームグリップ剤であらかじめ縫い目に表と裏からシームグリップ剤を縫い目にそって、塗布してからお使いください。
- 本製品は結露を軽減する機能を有しておりますが、防止するものではございません。悪条件が重なった場合、本体内部に多量の結露が発生する場合がございますのでご注意ください。

各部の名称

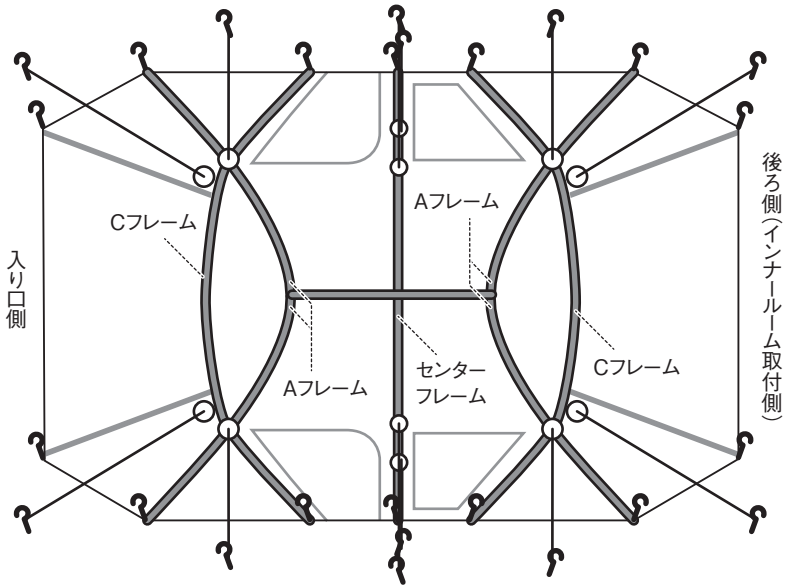


初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 本製品にはハンマーは含まれておりません。

自在付ロープ・ペグダウンの位置

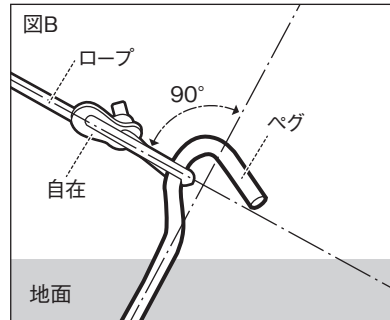
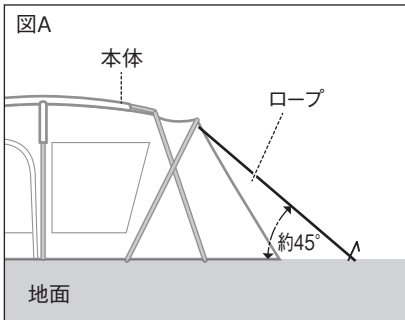
ロープの固定、ペグダウンは下図のように行ってください。



設営したとき、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。

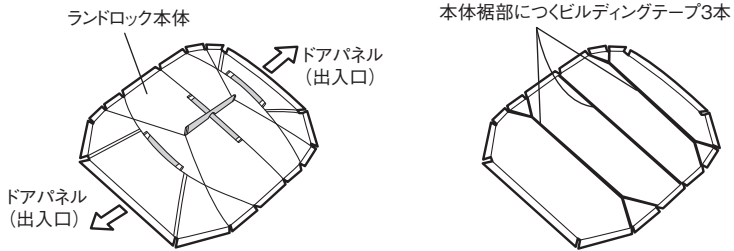
〔図A〕

また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。〔図B〕

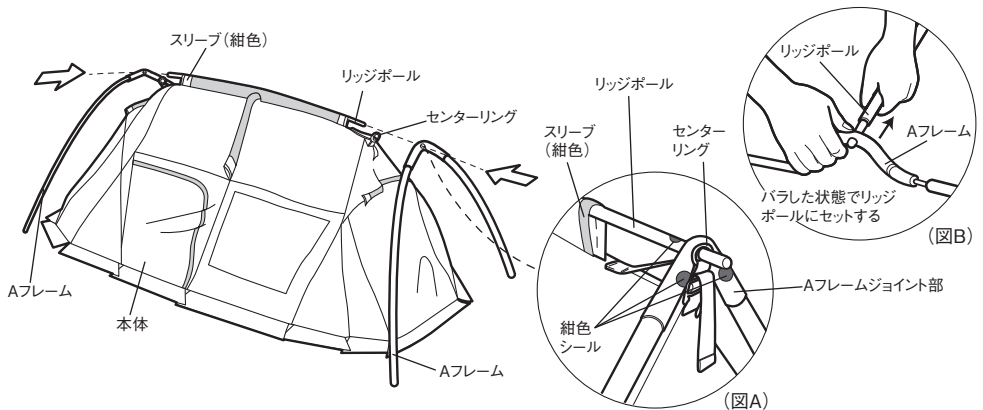


設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

- ① 本体を設営しようとする場所に広げてください。その時2つある出入口用ドアパネルの向きを考慮してください。
※ビルディングテープ3本ともバックルが接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。

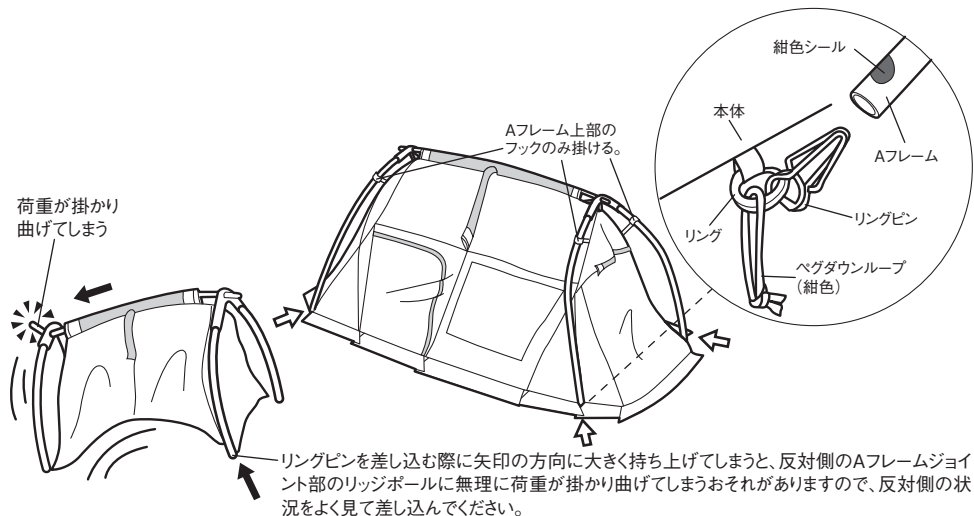


- ② 初めに、先端部紺色のリッジポールを真中の紺色テープがついたスリーブに入れてください。そしてAフレームジョイント部についている2個の紺色シールが外側に向く様にリッジポールを差し込んでください。リッジポールの端がAフレームジョイント部の最後までしっかりと入った事を確認し、センターリングを奥まで押し込む様に入れて引っ掛けてください。(図A)
この時点ではセンターリングのテープはテンションを掛けずにゆるめておいてください。次に反対側のAフレームにもリッジポールを差し込んでください。
※Aフレームをリッジポールにセットするときには、Aフレームを全て繋げてからセットせずに、左上右の1本以外はバラしたままリッジポールにセットしてください。(図B)セットしてから立ち上げることで接合部へのストレスを減らし楽に設営できます。



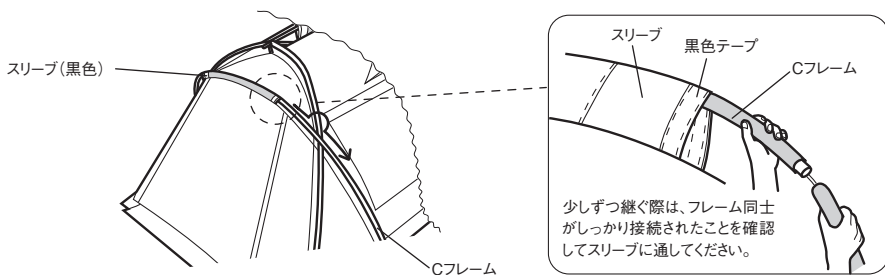
- ③ 本体の裾部にある紺色紐が付いたリングピンを持ちAフレームに差し込んでください。(4ヶ所) 両側のセンターリングのテープのテンションを調節してください。この時にAフレーム上部のプラスチックフックをあらかじめ付けてください。

※リングピンをAフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりと動かない様を持ち、指をささないように気をつけながら差し込んでください。フレームを持ちあげると反対側に荷重が掛かり、リッジポールの端部を曲げる危険があります。

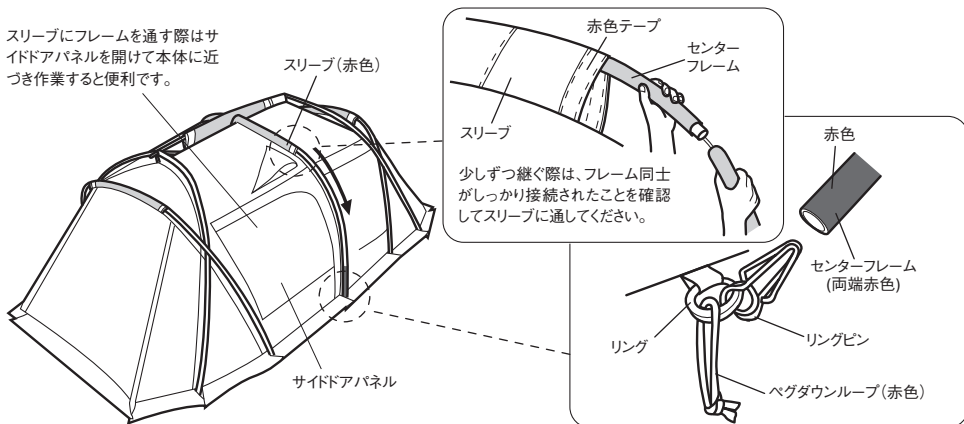


- ④ 両端に黒色シールがついたCフレームを少しずつ継ぎ黒色テープがついたスリーブに通してください。次に③同様にリングピン(黒紐付き)を差し込んでください。片側のCフレームを立てた後もう一方のCフレームも同様に立ち上げてください。

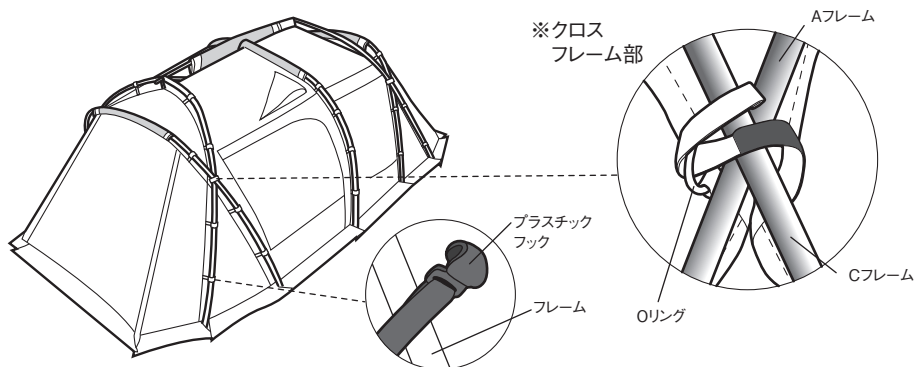
※Cフレームも、少しずつ継ぎスリーブに通してください。CフレームはAフレームの外側を通してください。



- ⑤ 両端が赤色のセンターフレームを少しずつ継ぎ、本体センターにある赤色テープがついたセンタースリーブに通してください。次に③同様にリングピン(赤紐付き)を両端のフレームエンドに差し込んでください。

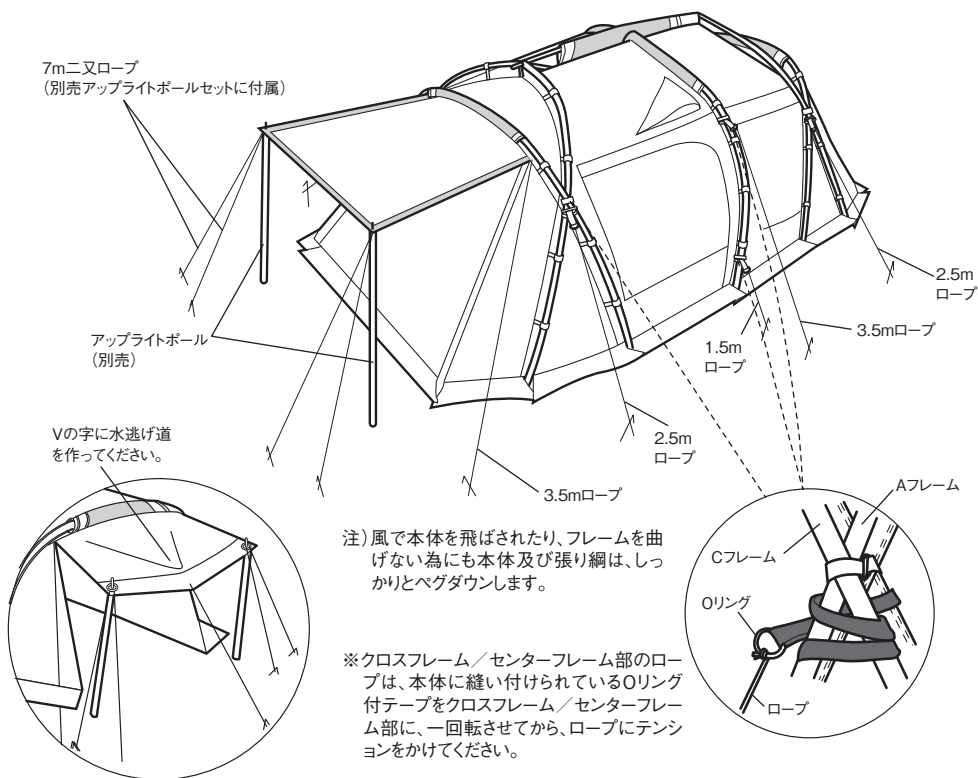


- ⑥ Aフレーム/Cフレーム/センターフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを掛けてください。クロスフレーム部はベルクロ付テープをOリングに通して固定してください。



⑦ 裾部リングピンに付いている、ベグダウン用ループ及びテープにベグを通し、全て室内側でベグダウンをしてください。また、付属のロープも、しっかりベグダウンしてください。出入口用ドアパネルを張り出す場合は別売のアップライトポール(TP-080)を使い二又のロープで立ち上げてください。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。

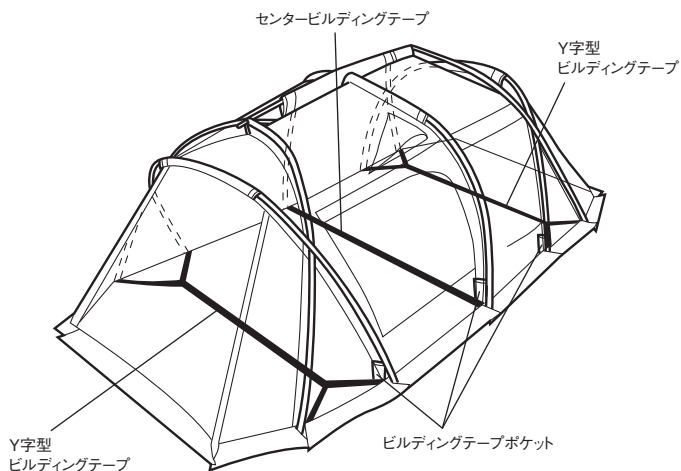
※降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し勾配をつけるか、ポールを短く使い、前面中央を大きくV字にロープで下げ、水の逃げ道をつくり溜まらないようにしてください。



注) 風で本体を飛ばされたり、フレームを曲げない為にも本体及び張り綱は、しっかりとベグダウンします。

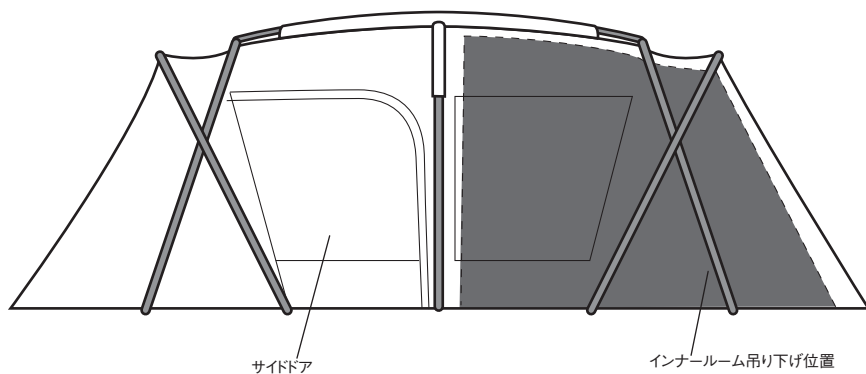
※クロスフレーム/センターフレーム部のロープは、本体に縫い付けられているOリング付テープをクロスフレーム/センターフレーム部に、一回転させてから、ロープにテンションをかけてください。

- ⑧ 必要に応じて最後にビルディングテープのバックルをはずし、テープをポケットに収納してください。(設営後にビルディングテープを外す場合は、必ず室内側にペグダウンをしてテンションを室内側にかけてください。)

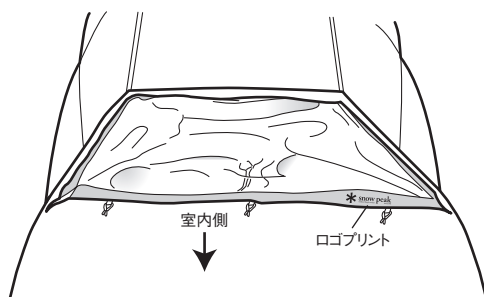


インナールームの取り付け方

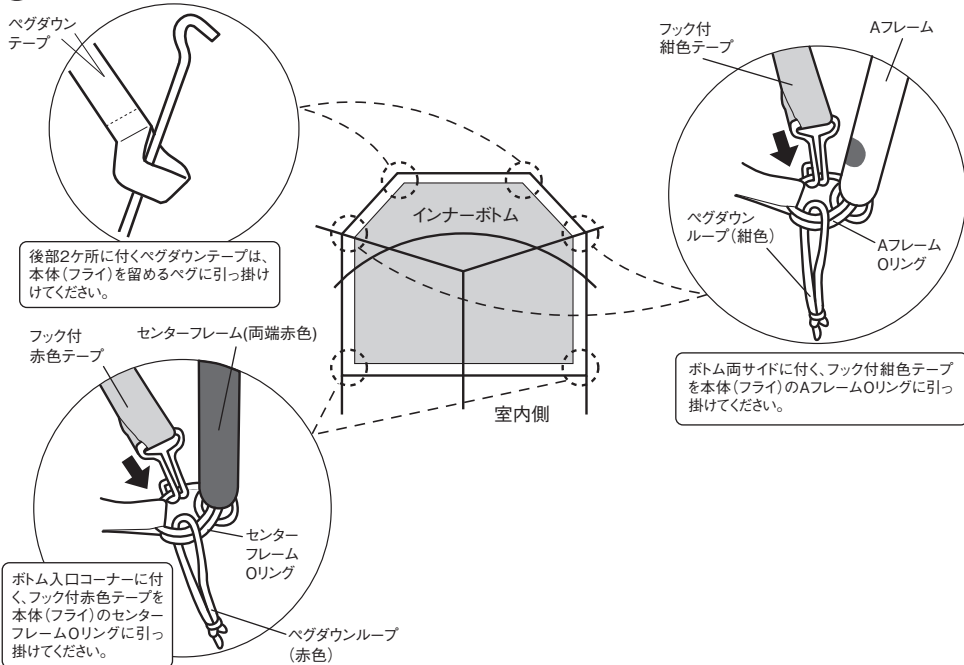
- ※インナールームは、ランドロック本体のサイドドアが無い側の室内に吊り下げてください。
(サイドドア側には、インナールーム取付用のリングがないので取付けられません。)



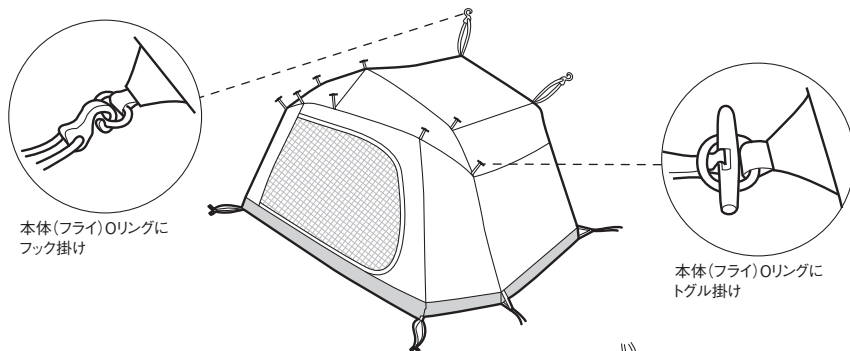
- ① インナールームの前後を確認して、ランドロックの室内に広げます。
(インナールームはボトムにロゴプリントが入っている方が室内側になります。)



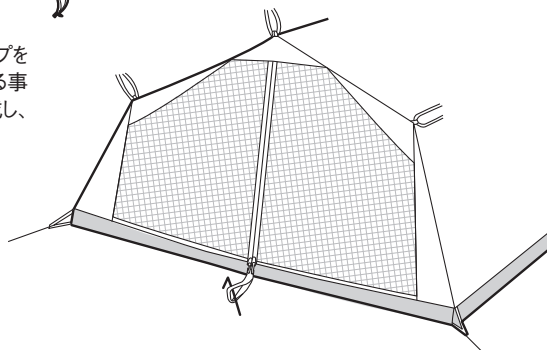
- ② インナールーム各ボトムコーナーに付くフック・ゴムループを本体(フライ)のOリング、ペグに引っ掛けてください。



- ③ インナールーム上部に付くフック・トグルを本体(フライ)のOリングに全て引っ掛けてください。



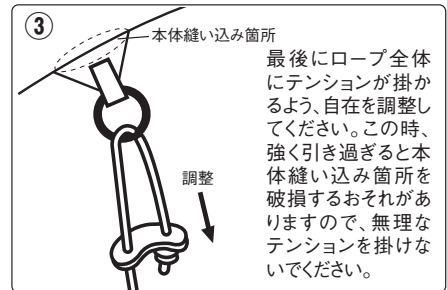
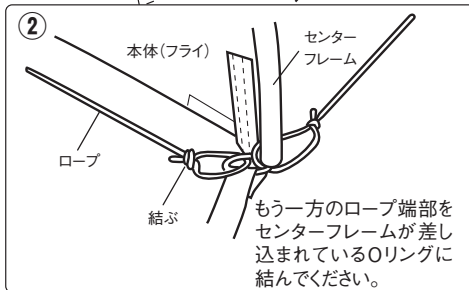
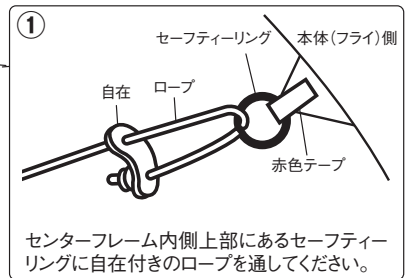
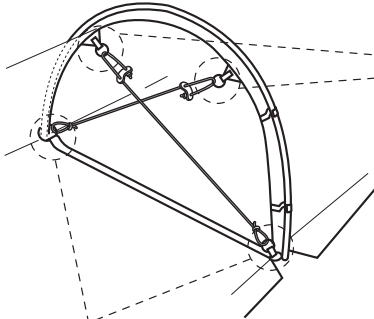
- ④ 最後に出入り口下部にあるベグダウンテープをベグダウンしてください。このベグダウンをする事で、ドア開閉の際のボトム浮き上がりを軽減し、開閉しやすくなります。



セーフティリングの活用

本製品には、強風時に側面からの風に対して安定性を保つセーフティリングを備えています。センターフレーム内側にお手持ちのロープを下図のようにセッティングしてください。

警告 あくまでも補助対策です。あらゆる悪天候に耐えられるものではありません。一時的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティリングに体重をかけるなどしないでください。破損のおそれがあります。



収納時の注意事項

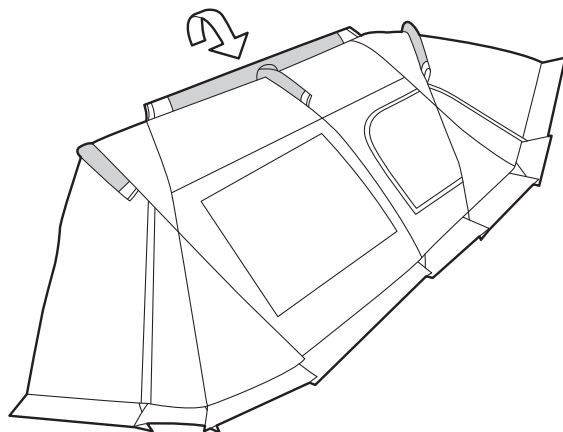
- 十分に乾燥してから収納してください。
- 設営後ビルディングテープを外した場合は、撤収の前にビルディングテープのY字型とI字型のバックルをセットします。次回設営時にペグダウンの位置が決まりやすくなります。
※Y、I字型部のペグダウンを本体の外側から行なった場合本体が広がり、撤収時に再セットしにくくなりますので室内側でペグダウンされることをお勧めします。
- フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押し取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあり生地を傷める場合があります。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中にも何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームキャリアバッグに収納してください。むき出しの状態では収納すると、本体生地やキャリアバッグ等を傷付けることがあります。



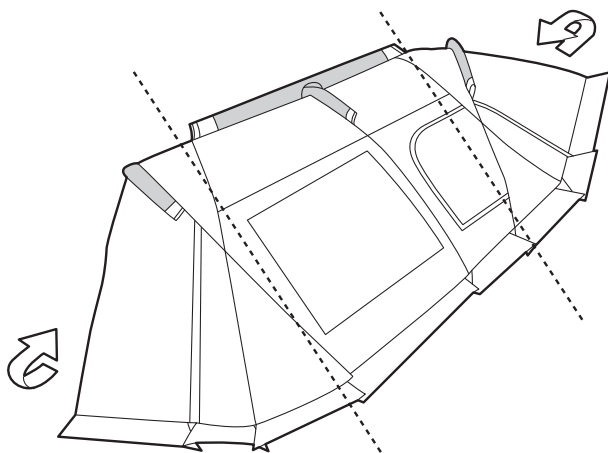
収納方法

(収納する際は、必ずインナールームを本体から取り外したあとに本体を撤収してください。)

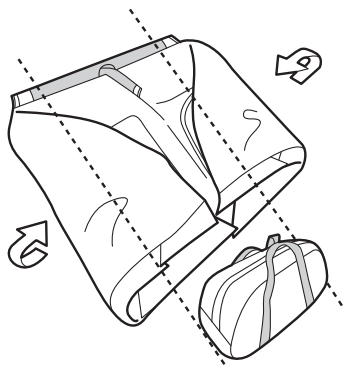
- ① センタースリーブを中心に2つ折りにたたんでください。



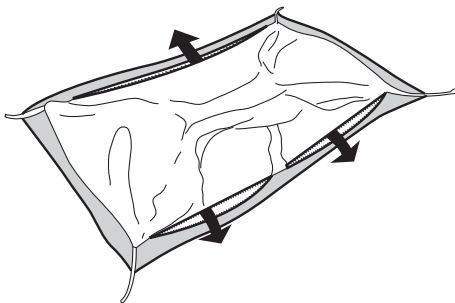
- ② 長方形になるように両サイドを内側にたたんでください。



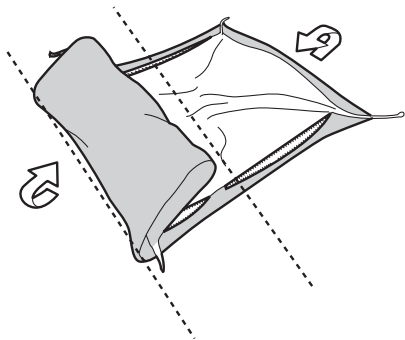
- ③ 長方形になった本体(フライ)をキャリアバッグサイズに入る幅にたたんでください。



- ④ インナールームドアパネル下部のファスナーを空けてください。



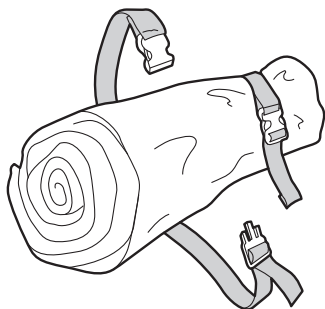
- ⑤ 本体(フライ)同様に、キャリアバッグサイズに入る様にたたんでください。



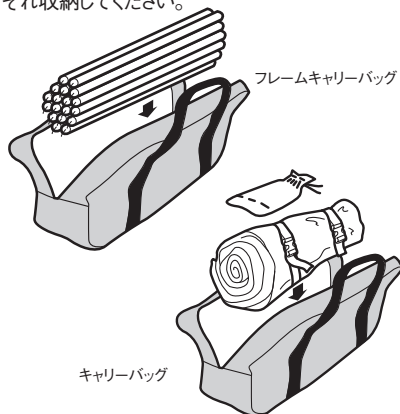
- ⑥ ケース幅になった本体(フライ)を裾部に向かって空気を出す様に巻いてください。インナールームは④で開けておいたファスナーに向かって、空気を出す様に巻いてください。



- ⑦ 本体(フライ)とインナールームをまとめて、付属のコンプレッションベルト2本を掛け絞ってください。

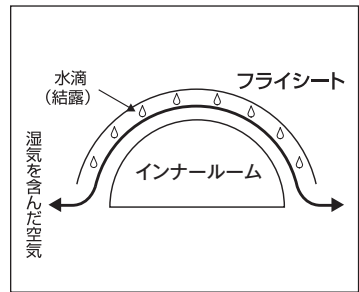


- ⑧ フレームは、フレームキャリアバッグへ、本体(フライ)とインナールーム、ペグはキャリアバッグへそれぞれ収納してください。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。



撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができませんのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができませんのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

ご購入いただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、ご購入求めの販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

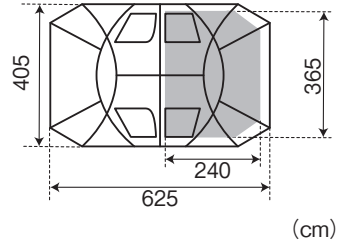
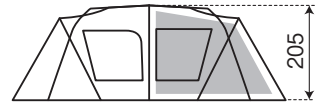
1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命 2. 改造および粗雑な取扱いによる故障 3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障 4. 不測の事故による商品の故障 5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障 6. ゴミやさびによる故障 7. 分解したことによる不具合の発生または破損 8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合 9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障 10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、ご購入求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- セット内容：本体、インナールーム、A フレーム (×2)、C フレーム (×2)、センターフレーム、リッジポール、ジュラルミンペグ (21cm×27)、自在付ロープ (1.5m×2、2.5m×4、3.5m×6)、シームグリップ剤、ペグケース、フレームキャリーバッグ、キャリーバッグ、コンプレッションベルト (×2)
- 材質：本体 / 150D ポリエステルオックス・遮光ピグメント PU コーティング耐水圧 3,000mm ミニマム (ルーフ部)・UV カット加工・テフロン撥水加工・150D ポリエステルオックス・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム (ウォール部)・UV カット加工・テフロン撥水加工・フレーム / A6061 (φ19mm)、インナールーム / 68D ポリエステルタフタ (ウォール)・210D ポリエステルオックス・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム (ボトム)
- 収納ケースサイズ：キャリーバッグ / 75×33×36 (h) cm、フレームキャリーバッグ / 72×17×22 (h) cm
- 重量：24.5kg



(cm)

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM

Instruction Manual : Ver 2.00

TP-671R

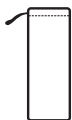
Land Lock



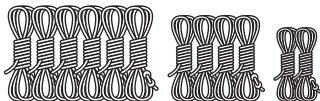
Thank you very much for purchasing a Snow Peak product. This product is a shelter designed for camping. To use this product safely and correctly, please carefully read these instructions. After reading these instructions, keep this manual in a safe place for future reference. If you find anything in the instruction manual that is difficult to understand or find a defect with the product, stop using it immediately and contact the dealers where the product was purchased or Snow Peak Customer Service.

Contents

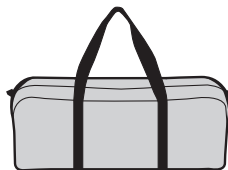
The contents are designed to be set up in normal conditions. You should prepare some durable long pegs, ropes, and other accessories in order to make setup easier. Pegs and rope tensioners are consumable items. We recommend that you always carry spares of these items.



Peg Case



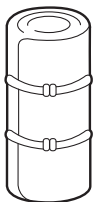
Rope with a rope tensioner
(3.5 m / 11.5'x6, 2.5 m /
8.2'x4, 1.5 m / 4.9'x2)



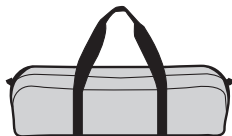
Carry Bag



Inner room



Shelter body
Compression belt x 2



Pole carrying bag



A polex2
Ridge polex1
C polex2
Center polex1



Duralumin pegx27

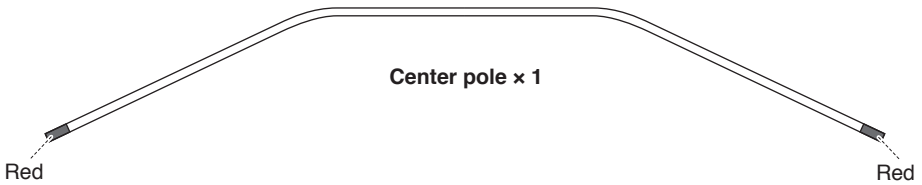
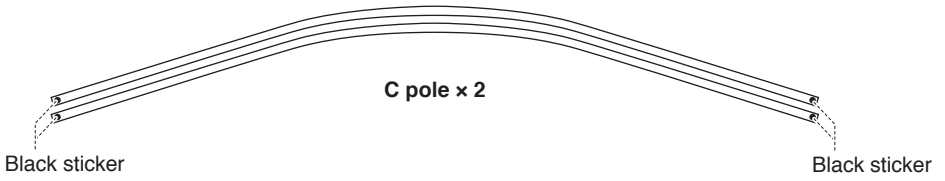
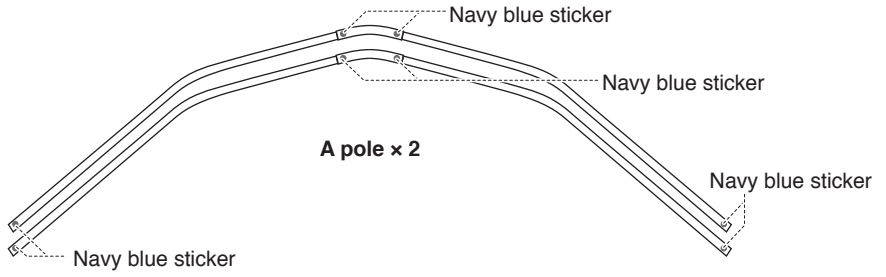


Seam sealer



Instruction Manual
(this document)x1

Pole configuration



 DANGER: Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters or cigarettes, inside the shelter. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is very dangerous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the shelter.

 WARNING: Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Do not bring heated items at high temperatures under the tarp. Excess heat could cause fire and/or heatstroke.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring hot or heat-producing items into the shelter. If the inside of the shelter becomes very hot, heatstroke or fire may result.
- Inside the shelter, very high temperatures may cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the shelter.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the shelter. Choose an area where there is no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.
- Sudden snowfall can cover up the mud skirt of the door panel or cause the ceiling part to be loaded with heavy snow, both of which can lead to danger. Remove snow and ventilate the inside by opening the entrance every now and then.

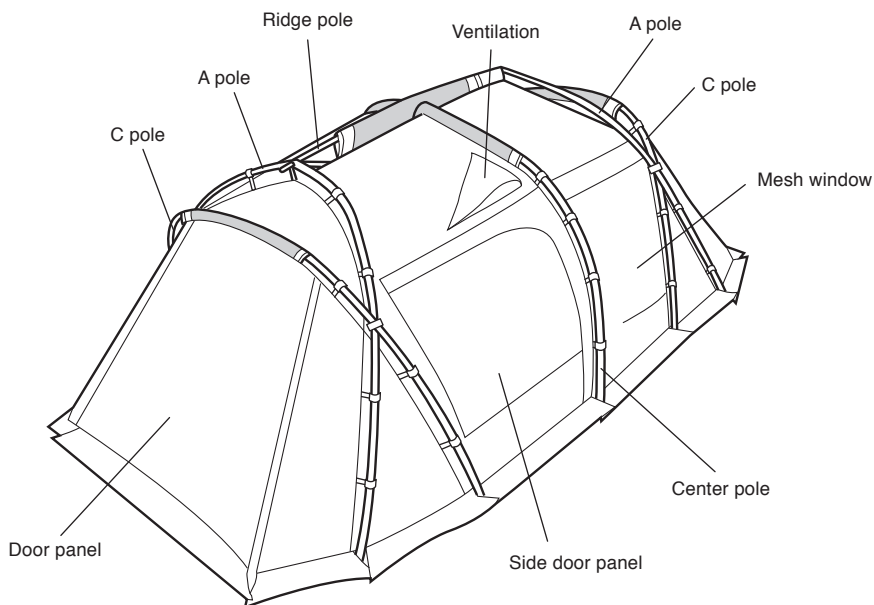
 CAUTION: Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use. If the shelter is left in the sun for long periods, the materials may fade in color or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the shelter set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Do not assemble or use the shelter close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- When assembling and disassembling the shelter, firmly hold the shelter so that it won't be blown away by the wind. When handling the poles, ensure that the surrounding area is safe before working so as to avoid accidents. Make sure to work with two or more people.
- Secure the tent using pegs and ropes.
- This product is made of a thin fabric, so it may break if you pull the fabric excessively.
- Please pay attention to the building tape, rope, pegs, etc. around your feet. If you are not careful, you may trip and fall, which may result in an unexpected accident or injury.
- The inner room has a loop for hanging small items. Please only hang items that weigh less than 1 kg (2.2 lbs).
- Applying proper tension to the ropes provides the shelter strength to withstand wind and rain. When using this product, be sure to use and apply tension to all ropes according to this manual.
- Do not assemble or use this product near a combustion-based lantern, stove, heater, or other heat source. Ensure a safe distance where the product will not catch fire even when the heat source falls or drops.
- Firmly grip the poles when assembling and disassembling this product. Unexpected accidents may occur due to a pole end recoiling. Ensure that no one is close by and that the surrounding area is safe.
- A waterproofing treatment using seam tape has been applied to the sewn parts of the product. However, seam tape cannot be applied to certain parts due to manufacturing or structural reasons.

Such parts include door panels, window zipper parts, and parts where tape is sewn on. Although this product is capable of withstanding normal rain, long spells of heavy or driving rain may result in rainwater soaking through the stitching. As no sealing treatment is used on this product at the time of purchase, apply the supplied seam sealer along the stitches from both sides before using this product.

- While this product has a function that reduces condensation, it does not completely prevent condensation. If adverse conditions are combined, a large amount of condensation may occur inside the product.

Name of the Parts

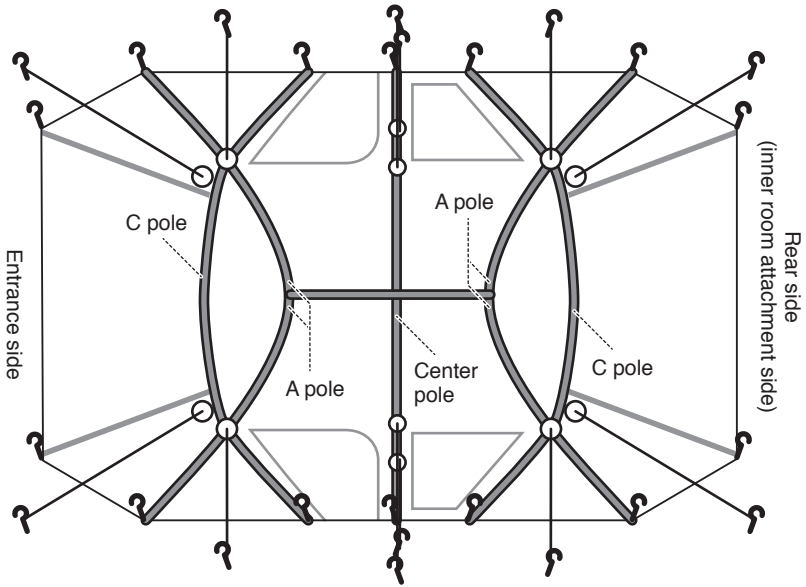


Before using this product for the first time

- Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product, and practice assembling and handling the product before actually using it for camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer you purchased the product from, or Snow Peak Customer Service.
- This product does not include hammers.

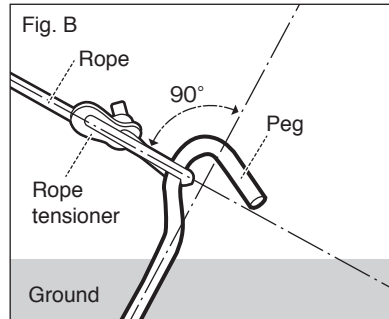
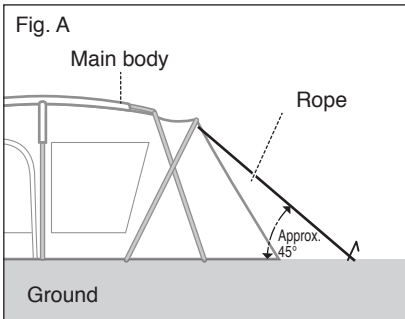
Rope with rope tensioner, peg down position

Fix the rope and determine the peg down positions as shown below.



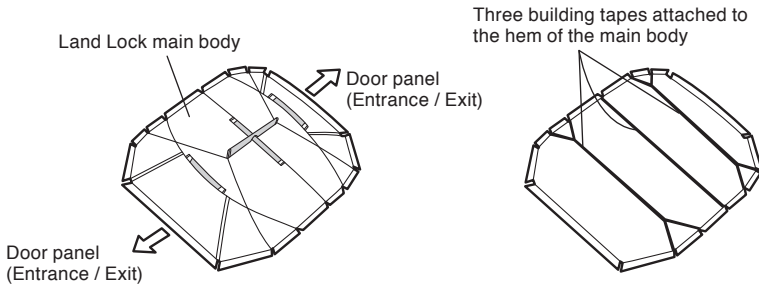
The ideal position to insert the peg is the place where the rope is at a 45° angle to the ground when set up. [Fig. A]

Insert the pegs at a 90° angle to the rope. [Fig. B]

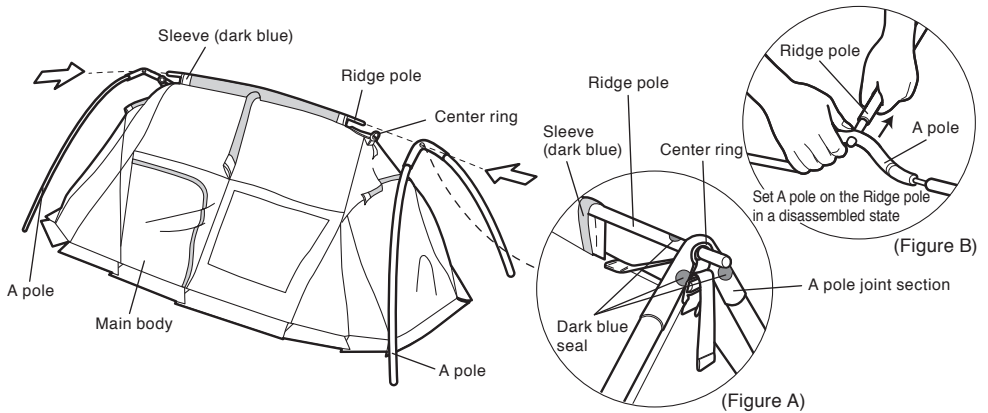


Setup procedure: Make sure that two or more people take part in the setup.

- ① Spread the main body on a flat area. Consider the orientation of the two doorway panels.
 * Make sure all three building tapes are buckled. If it is disconnected, make sure to connect them before setup.



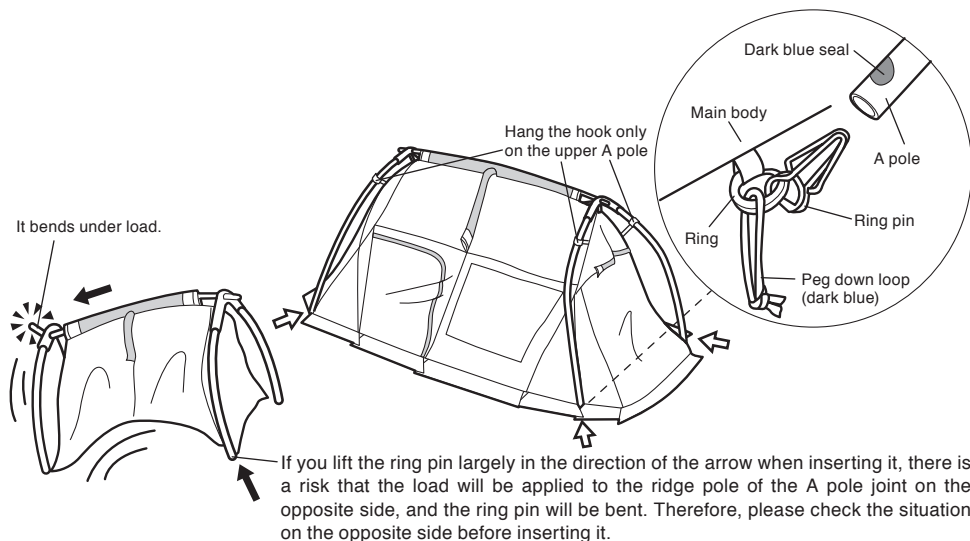
- ② At first, place the ridge pole with navy blue tips into the sleeve with navy blue tape. Then, insert the ridge pole on which the two navy blue stickers on the A pole joint section face outward. Make sure the tip of the ridge pole is fully inserted into the A pole joint section, and then push the center ring all the way in to hang it. (Fig. A)
 At this point, loosen the center ring tape without applying tension. Next, insert the ridge pole into the A pole on the opposite side.
 Note: When setting the A pole on the ridge pole, do not set it after connecting all the A poles, and set it on the ridge pole while leaving the left and right upper ones apart. (Figure B) By setting it and then starting to raise the A pole, you can reduce the stress on the joint and set it up easily.



- ③ Hold the ring pin with the dark blue peg down loop on the hem of the body and insert it into the A pole. (4 places)

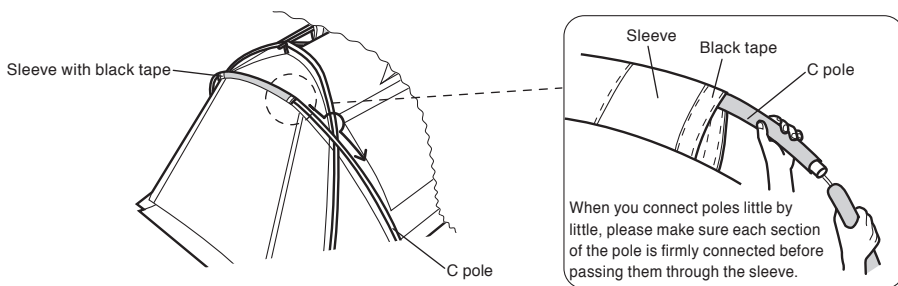
Adjust the tension of the tape by pulling the belt with center rings on both sides. At this time, please hook the plastic hook in the upper part of the A pole beforehand.

* When inserting the ring pin into the A pole end, hold the pole ends firmly so that it does not move, and insert carefully so that your finger does not get caught. If you lift the pole, a load will be applied to the opposite side, and there is a risk of bending the end of the ridge pole.



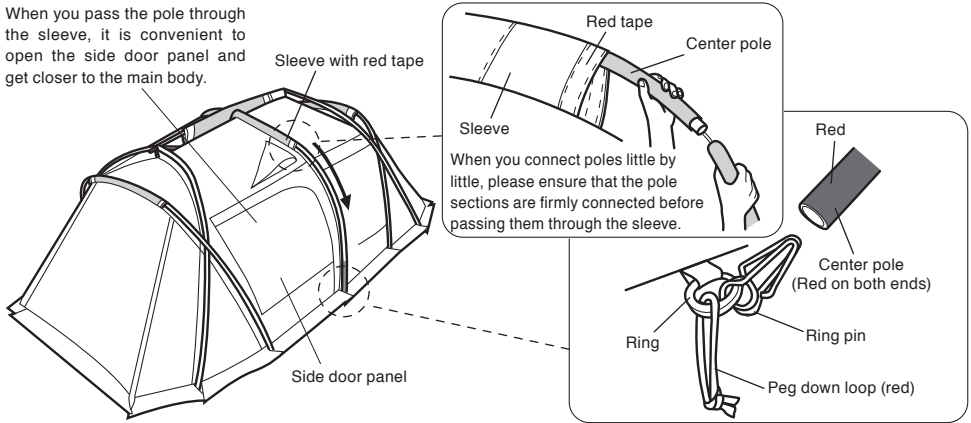
- ④ Connect the C pole with black stickers on both tips little by little, and pass it through the sleeve with a black tape. Next, insert the ring pin (with a black string) in the same way as in step ③. After raising the C pole on one side, raise the other C pole in the same way.

* Also, connect the C pole little by little, and pass it through the sleeve. Pass the C pole through the outside of the A pole.

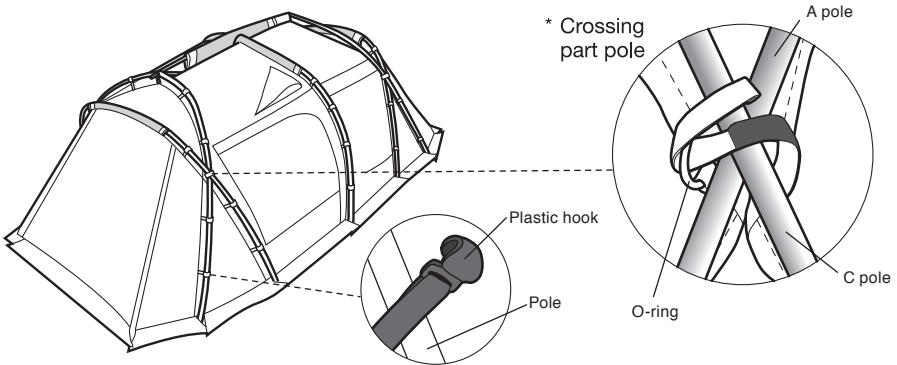


- ⑤ Connect the center pole, marked with red stickers on both ends, in steps and pass it through the center sleeve with a red tape at the center of the main body. Next, insert the ring pins (with a red string) into the pole ends at both tips in the same way as in step ③.

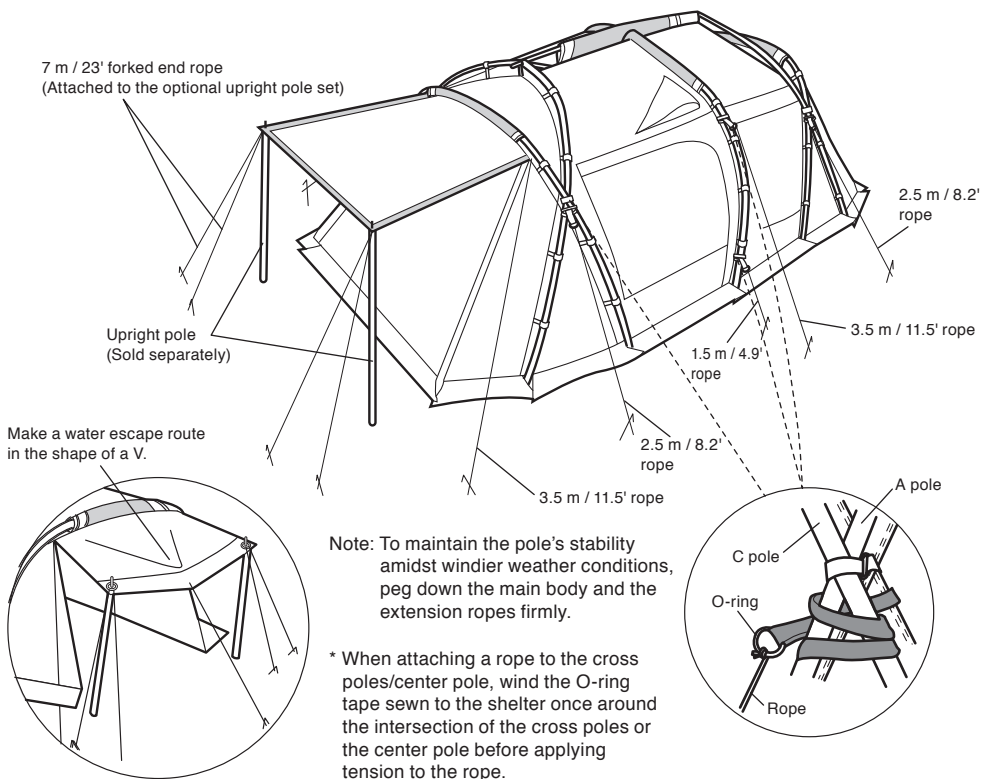
When you pass the pole through the sleeve, it is convenient to open the side door panel and get closer to the main body.



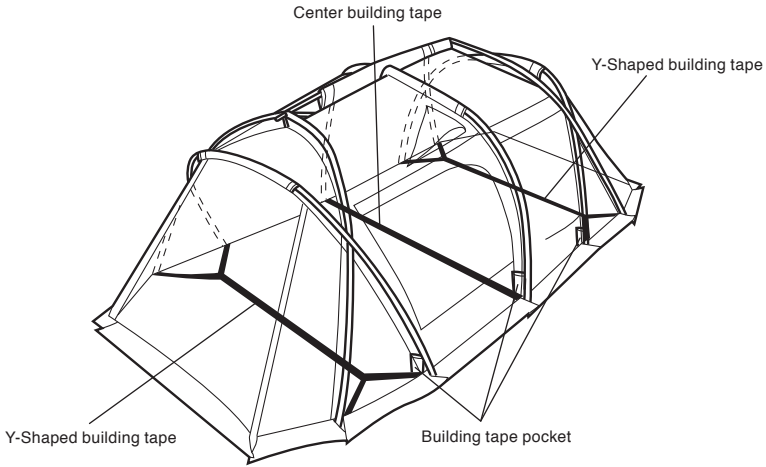
- ⑥ Please hook the plastic hooks from top to bottom to the A pole / C pole / center pole. Fix the crossing part of poles with tape with Velcro through the o-ring.



- 7 Place the peg through the loop attached to the ring pin on the hem and peg down all the loops inside the room. Peg down the rope firmly. Use the sold separately upright pole (TP-080) to lift the entrance / exit door panel. Adjust the direction of the rope so that no wrinkles remain.
- * When it rains, the door panel tends to fill with water, so either tilt the pole and make a gradient or use a short pole and pull down the center of the front with a large V-shaped rope so that water can escape.

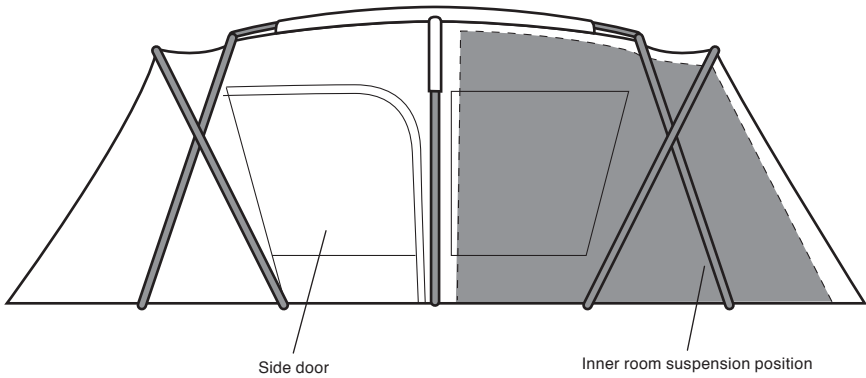


- 8 If necessary, unbuckle the building tape and store the tape in the pocket. If you remove the building tape after setting up, be sure to peg down inside and apply tension.

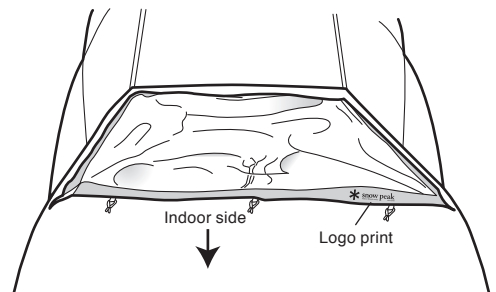


Setting up the inner room

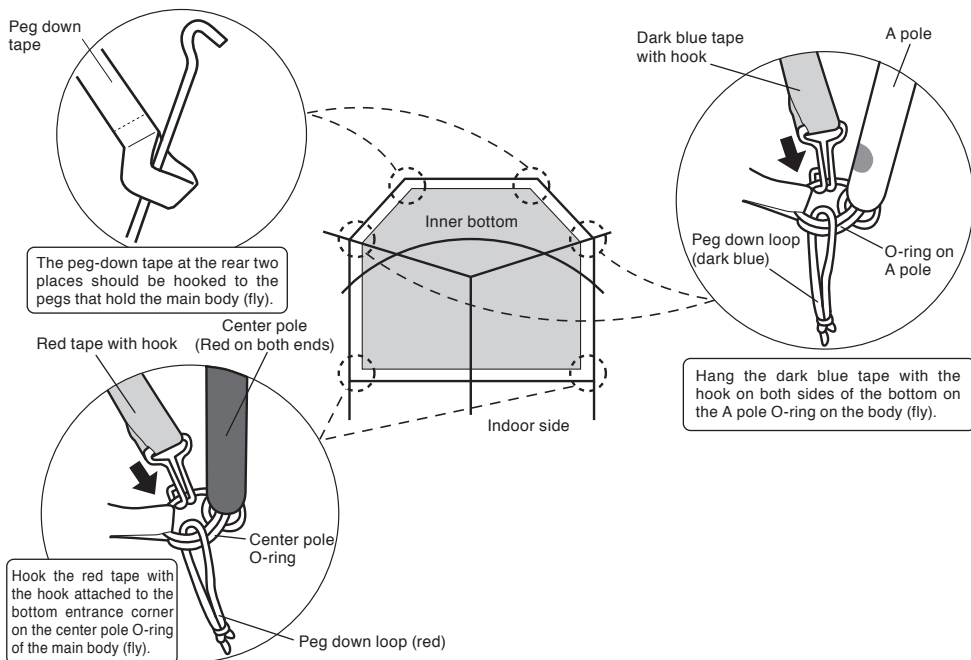
- * Please hang the inner room in the room on the side of the Land Lock without the side door. Since there is no O-ring for the inner room, it cannot be mounted on the side door.



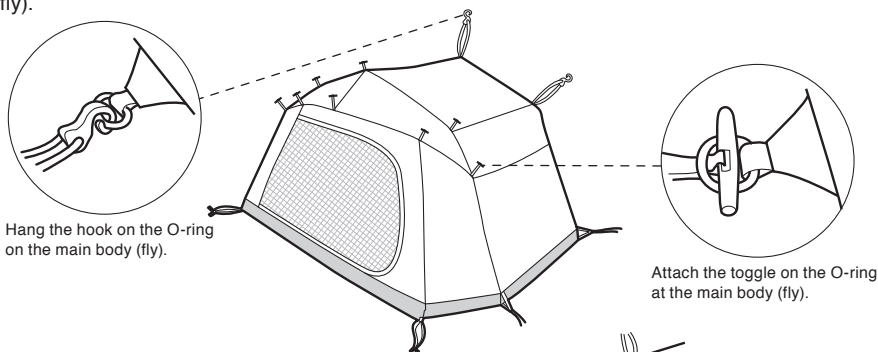
- 1 Please check the front and back of the inner room and spread it in the room of the Land Lock. For the inner room, the side with the logo print at the bottom is the indoor side.



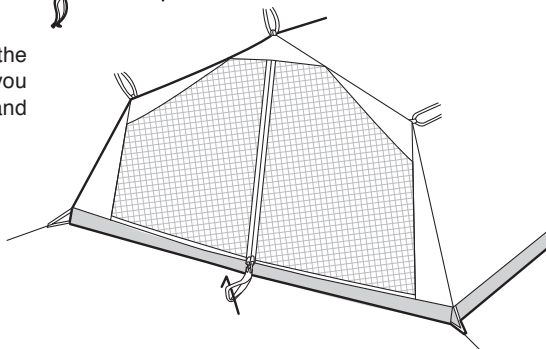
- 2** Hook the hooks and rubber loops on each bottom corner of the inner room to the O-rings and pegs on the main body (fly).



- 3** Hang all the hooks and toggles attached to the top of the inner room to the O-ring of the main body (fly).



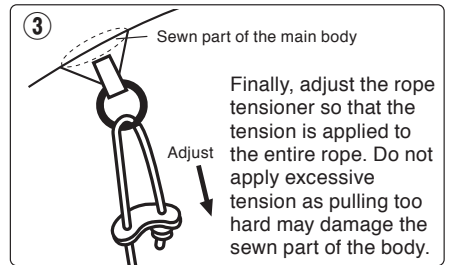
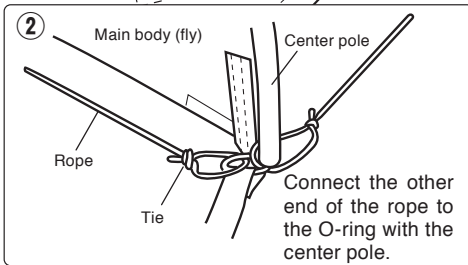
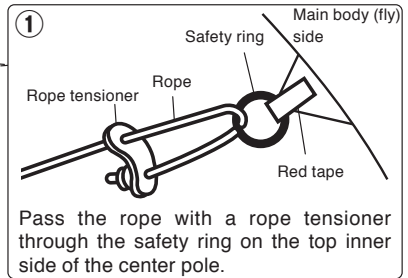
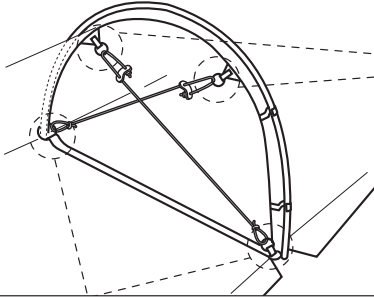
- 4** Peg down the tape at the bottom of the entrance and exit. By pegging down, you will reduce the floating when opening and closing the door.



Use of safety rings

This product has a safety ring that maintains stability during strong winds. Set up your rope inside the center pole, as shown below.

WARNING The safety ring is only a supplementary measure and cannot withstand all bad weather. Please use this product only when there is a temporary strong win or when it is difficult to disassemble immediately. Do not put your weight on the safety ring; otherwise, it may be damaged.



Precautions for disassembly / storage

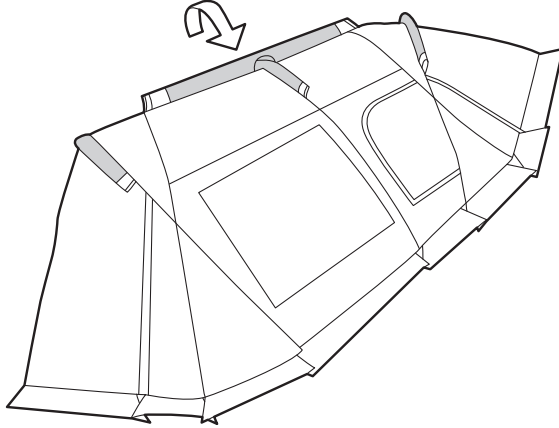
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently.
- If you remove the building tape after setting up, connect the Y-shaped and I-shaped buckles of the building tape before taking it down. This will make it easier to position the pegs for the next time you set up.
 - * If you peg down the Y or I-shaped part from the outside of the main body, the main body will expand, and it will be difficult to re-set the pegs when you take it down.
- When removing the pole from the pins, the pole may recoil. Use your hands to keep the pole steady until it straightens.
- When removing the pole from the sleeve, push it out.
 - * If the pole is pulled out, then it may become disconnected inside the sleeve. The disconnection of the pole inside the sleeve may cause damage to the cloth
- When there is strong wind, take down the shelter after the wind subsides.
- If you are using the inner room or using this product with another tent or tarp, always remove the inner room or the other products from this product before taking it down.
- Start packing up after confirming that there is nothing left inside the shelter and that the zippers of all panels and window are closed.
- Ensure that all building tapes are connected before taking down the shelter. This makes it easier to peg down next time you set up the shelter.
- Always start folding the poles near the middle. Folding from the ends may cause the shock cord inside the pole to stretch out or break, or the pole to bend or break.
- Pull out all pegs and clean them. Store them in the peg case with the heads facing down. Store all poles in the pole carrying bag. Storing the pegs exposed in the carrying bag may damage the fabric of this product and/or the carrying bag.



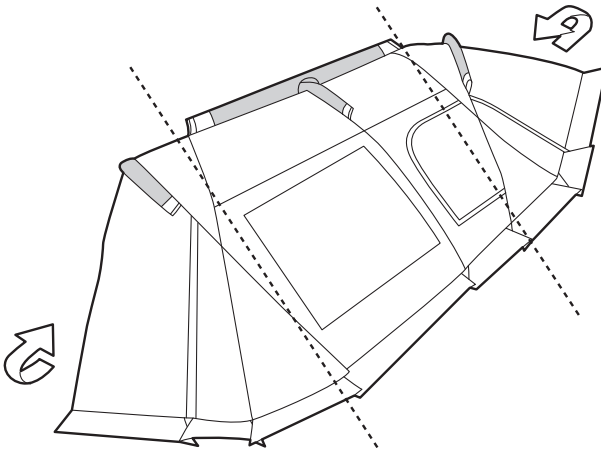
How to store

(When storing, be sure to disassemble the main body after removing the inner room from the main body.)

- 1 Fold the main body in half with the center sleeve as centered on top.



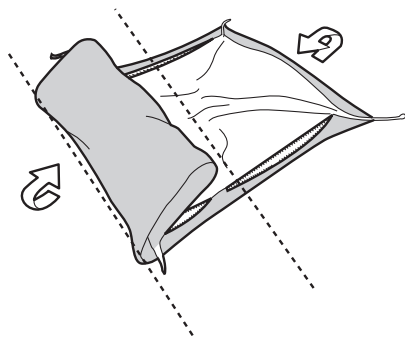
- 2 Fold the sides inward to form a rectangle.



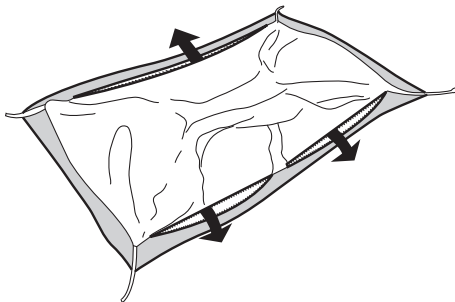
- 3 Fold the rectangular main body (fly) to a width that fits into the carry bag.



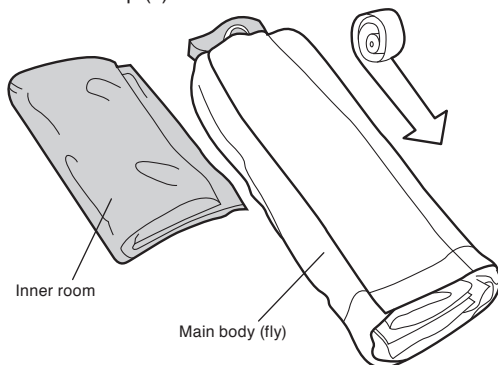
- 5 As with the main body (fly), please fold it to fit into the carry bag.



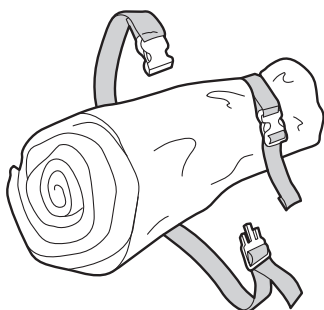
- 4 Leave the zipper at the bottom of the inner room door panel open to allow air to escape easily.



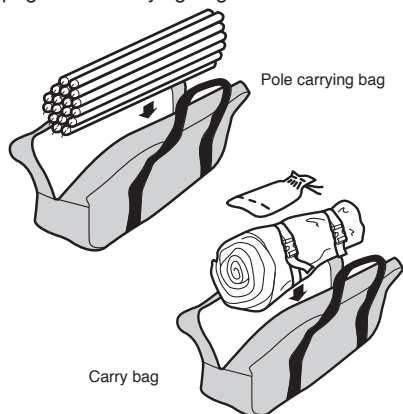
- 6 After reaching the width of the carrying bag, roll up the main body (fly) so that the air comes out toward the hem. Wrap the inner room toward the zipper opened in step (4) to let the air out.



- 7 Put the main body (fly), inner room together, and compress all by tightening the two compression belts provided.

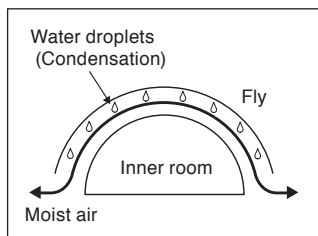


- 8 Store the poles in the pole carrying bag, and the main body (fly), inner room, and pegs in the carry bag.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the tent is in use.



Water-Repellent and Waterproof Functions

- The fabrics of the main body are treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of the water-repellent ability and durability may vary slightly due to the characteristics of each material type. The water-repellent finish will lose its effectiveness after repeated use. When the water-repellent ability decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Although this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it if it is in contact with water pools on the ground for long periods of time.
- The PU coating may be damaged by agricultural chemicals, which cause the water pressure resistance to decrease to an abnormal degree. Please note that the product will not be covered by the warranty if it is damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- If the shelter is left in the sun for long periods of time, the colors of the materials may fade, or the fabric may deteriorate and lose its strength. Do not leave the shelter set up permanently.
- A UV protection treatment has been applied to the material of the main body.
*The UV protection treatment will not completely shield occupants from ultraviolet rays or completely stop the deterioration of the material.
- The material may deteriorate with exposure to ultraviolet rays. Deterioration may reduce the durability of this product beyond repair by Snow Peak.

Maintenance & Storage

- When using the product again after not using it for a long period of time, inspect the product and its included items. If you have any questions, please contact Snow Peak Customer Service.
- A polyester fabric blend is used for this product. Considering the material characteristics, we have adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storing, the product should be cleaned and dried. If the product is stored while wet, mold will build up and bad odors, color migration, and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy, shaded area and clean the surface using a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the frames before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric. Ensure that the cords inside the poles are not pulled unnecessarily.
- Always start folding the poles near the middle. Folding from the ends may cause the shock cord inside the pole to stretch out or break, or the pole to bend or break.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and humidity.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Small areas of fabric damage can be fixed with repair tape. Please read the repair tape manual carefully before applying.
- Depending on the conditions during use, a large area of the material may deteriorate, lose its durability, and become irreparable.

- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents the PU coating from being damaged. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is discovered, use an iron at a low temperature and reattach the peeling sections only. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. Do not forcibly peel off the seam tape. If the PU coating peels off completely, it may not be possible to repair.
- Sap cannot be easily removed. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. If sap is forcibly removed using a solvent, etc., the fabric or coating may be damaged.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain it (including all accessories such as pegs).

FAQ

Q: What can be done if the Pole is broken while the shelter is in use?

A: For emergency treatment, use a splint or fix with vinyl tape. Or disassemble the shelter for repair.

Q: What can be done if the shelter cloth is damaged or rips while the shelter is in use?

A: Seal the area with packing tape on both sides or use a shelter repair kit that can be purchased at your local outdoor gear retailer. When using a repair kit, read the instructions carefully.

Q: What can be done when the water-repellent finish degrades?

A: The water-repellent finish will lose its effectiveness with repeated use.

When the material's water repellence decreases, please use a water-repellent spray that can be purchased at your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.

Q: What can be done if mold develops on the shelter material?

A: Wipe the affected area with a dry cloth and sterilize with alcohol. When the material has a color change due to mold, this color change cannot be removed. Removing mold with excessive force may result in further deterioration of the material and the coating finish.

Warranty

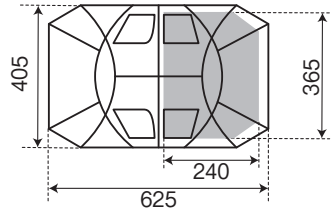
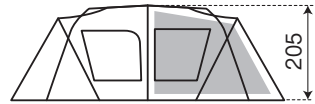
Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following: 1. Material deterioration caused by age. / 2. Damage caused by modifications or rough handling. / 3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual. / 4. Damage caused by unexpected accidents. / 5. Any damage other than defects in the manufacturing process. / 6. Damage caused by dust or rust. / 7. Damage and defects caused by dismantling the product. / 8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks. / 9. Deterioration or failure of parts due to friction. / 10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Specifications

- Set contents: Main body, inner room, A pole (x2), C pole (x2), center pole, ridge pole, duralumin peg (21 cmx27), rope with tensioner (1.5 m x2, 2.5 m x4, 3.5 m x6), seam sealer, peg case, pole carrying bag, carrying bag, and compression belt (x2)
- Material: Main body - 150D Polyester Ox, Light-shielding pigment PU coating water pressure resistance: 3,000 mm minimum (roof), UV protection treatment, Teflon water-repellent finish; 150D Polyester Ox, PU coating water pressure resistance: 1,800 mm minimum (wall), UV protection treatment, Teflon water-repellent finish; Poles - A6061 (19 mm dia.); Inner room - 68D Polyester Taffeta (wall), 210D Polyester Ox, PU coating water pressure resistance: 1,800 mm minimum (bottom)
- Storage case size: Carrying bag - 75x33x36 (h) cm / 29.5"x13"x14.2" (h), Pole carrying bag - 72x17x22 (h) cm / 28.3"x6.7"x8.7" (h)
- Weight: 24.5kg / 54 lbs



(cm)

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM